

来週の「売り物」記事はこれ



2015年10月23日号

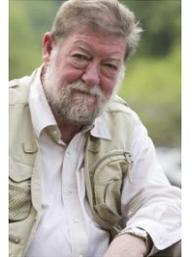
毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

人は、地球はどこへ行くのか CWニコルの思索の旅

25日(日)



自然への畏敬の念と共生する術を求めて——。森の民ケルトの子孫で作家、C・Wニコルさん=写真=とともに森の再生に取り組む長野・黒姫山や、氏が青春時代を過ごした北極を巡る旅に出ました。黒姫山の裾野「アフアの森」には9月、ニコルさんと東日本大震災で被災した宮城県東松島市の子供たちの姿がありました。ニコルさんは乱伐で荒廃した5畝の森を購入し、「多様な生物が共生できる森に」と手入れを続け、震災が発生した2011年の夏に「心の森プロジェクト」を開始。家族や友人を亡くした子供たちを招待しています。森の生命力に癒されるように笑顔を取り戻す子供たち。また、ニコルさんは17歳の時にあこがれだった北極の地を踏み、極北の大自然と先住民の知恵に魅了され、人格を形成していきます。「我々はどこへ向かっているのか」。過去と未来を問う思索の旅です。



日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

W杯イングランド大会で大活躍のラグビー日本代表

次の2019年W杯で8強入りの秘策は？

夕刊2面特集ワイド 26日(月)



ラグビーのワールドカップ(W杯)イングランド大会で、日本代表は新たな輝かしい歴史を刻みました。W杯では過去1度しか勝ったことがなかったのに、予選リーグで優勝候補の南アフリカを破るなど3勝も挙げたのです。次の2019年W杯は日本で初めて開催されるため、「次こそは決勝トーナメント(8強)に進出を」という期待が高まっています。この高い目標を突破するにはどんな策があるのでしょうか。かつての日本代表選手ら専門家にうかがいました。

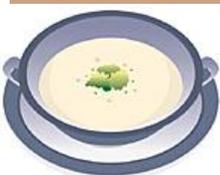
「男の気持ちをたずねて」 おんなのしんぶん 26日(月)

「くらしナビ」面で長年連載している「女の気持ち」に投稿した読者を訪ね、その後の様子などを描くコーナー。今回は、13年12月にこの連載が始まって以来、初めて「男の気持ち」の投稿者を取り上げさせていただきました。「男の気持ち」は、「女の気持ち」の欄に不定期で掲載しています。東京論説室の野沢和弘記者が、さいたま市北区の西川俊朗さん(51)取材しました。



今夏、西川さんの妻、朋未さんは49歳の若さで亡くなりました。胃に腫瘍が見つかり、わずか1カ月の出来事でした。西川さんは「これからのことが想像できない」と言います。野沢記者は22年前、東京本社社会面に連載していたコラム「探信音」の取材で、まだ新婚だった西川さん夫妻にお話を聞きました。当時の様子とともに朋未さんをしのんでいます。

確かな食べもの 辰巳芳子さんと生産者 27日(火)



米、魚、野菜はどこでどんな風にとれたものなのか、生産者はどんな思いで作ったものなのか……。食卓に並ぶ料理の前に、「日本の食」を支える人たちに思いをはせてほしいと辰巳芳子さんは語ります。最期の時を迎える人たちの「食」をスープで支える活動を20年近く続け、日本の食のあり方を問い続ける料理研究家、91歳。辰巳さんが信頼し敬愛する生産者の方々を訪ね、本物の「食べもの」をレポートします。

最新ウイルスに注意

くらしナビ面 31日(土)

米マイクロソフトの基本ソフト「ウィンドウズ 10」や米アップルの新しいスマートフォン(スマホ)「アイフォーン 6 s」「6 s プラス」など新製品が次々と発売されるIT業界。それに向けた新しい攻撃も出ています。アダルトサイトの登録を装って代金を取るものやスマホの汚染アプリ、身代金型ウイルス「ランサムウェア」の被害も急増しています。ウイルス対策について紹介します。



T P P を読み解く

朝刊文化面 31日(土)



第5土曜は、いま起きているさまざまな現象について経済の視点から第一線の研究者にインタビューし、読み解いてもらう「新・資本主義入門」です。テーマは今月、大筋合意した「環太平洋パートナーシップ協定(T P P)」。立命館大教授の松尾匡(ただす)さんが、賛成論と反対論それぞれの問題点や、今後、労働運動などに求められる対応を論じます。

J S C の大東和美さんに直撃!

五輪の競技場整備は大丈夫か?

オピニオン面【そこが聞きたい】 28日(水)

開会前からトラブル続きの2020年東京五輪・パラリンピック。政官の無責任ぶりを象徴したのが新国立競技場をめぐるドタバタ劇でした。結局、仕切り直しとなりましたが、その建設、運営を担うのが日本スポーツ振興センター(J S C)です。騒動では批判の矢面にさらされ、抜本的な出直しを迫られています。新理事長に就任した大東和美氏を直撃しました。



時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

社会人野球日本選手権大会開幕

30日(金)から11日間



単独チームの年間王座を争う「第41回社会人野球日本選手権大会」(毎日新聞社、日本野球連盟主催)が30日、大阪市西区の京セラドーム大阪で開幕します。出場は32チーム。開幕試合は昨夏の都市対抗で優勝した西濃運輸が初出場のカナフレックスと対戦。昨年優勝し連覇を目指すトヨタ自動車は31日、今夏の都市対抗で4強入りした三菱重工広島と、今夏の都市対抗を制し史上3チーム目の夏秋連覇を狙う日本生命は11月3日、鷺宮製作所と対戦します。準決勝は同8日午後0時半と午後4時、決勝は同9日午後6時にプレーボール。「社会人野球日本一」に輝くのはどのチームか。秋の球宴も毎日新聞でお楽しみください。